



第3回 米の山病院

地域医療連携懇親会

2月12日(金) 19時よりオームタガーデンホテルに於いて「2010年米の山病院地域医療連携懇親会」を開催しました。今回で三回目の取り組みでありましたが、49病院・施設の参加、173名の参加者があり、あらためて期待の大きさをうかがう事ができました。

懇親会では、大牟田保健所 西岡所長・大牟田医師会 蓮澤会長・荒尾医師会 野川副会長・大牟田市立総合病院 中山院長・荒尾市民病院 大嶋病院事業管理者よりご挨拶をいただき米の山病院にかける思いや地域連携への願いがよく感じる事ができました。

また今回のイベントとしてCT・MRIの機器更新にもない装置の紹介とシステムについてプレゼンテーションを行い地域での装置利用を呼びかけました。

歓談では、まさに医療・福祉の方々が医師・看護師等の職種を超えて幅広い情報交換がおこなわれ有意義な取り組みとなりました。

今後もさらに地域の医療機関・開業医の先生更には福祉施設の多くの方々と連携を深めながら医療や福祉を守る取り組みとして発展させ、安心して住み続けられるまちづくりをすすめていくことへの一翼として取り組んでいきたいと考えています。

地域医療連携室 平河道弘



医師紹介

内視鏡機器の増設と吉浦先生のご紹介



吉浦先生

皆さんこんにちは。私は米の山病院で消化器内科を担当している後藤です。今回は米の山病院に来年度より導入される新しい内視鏡システムと、昨年より当院内視鏡検査の半分を担当している吉浦先生を紹介いたします。

現在日本人の死亡原因の1/3が癌であり、その大部分が消化器癌です。胃癌は最近少なくなりましたが、大腸癌に至っては最近急速に増加しており、早晚癌死亡率のトップになることが予想されています。これらの診断、治療に大いに威力を発揮するのが内視鏡検査です。当科ではこれまでも胃、大腸癌の早期発見、ポリペクトミーなど内視鏡的治療を行ってきましたが、最近の機器の発達は著しく、ハイテクを駆使したシステムが開発されています。当院でもこれまで以上に早く、精密に病変を発見できるように、来年度よりその新しい内視鏡システムを導入することになりました。皆様も是非一度内視鏡検査を受けて下さい。

米の山病院の消化器科も世間のご他聞に漏れず医師不足が深刻であり、内視鏡検査の体制確保にも四苦八苦しているのが現状です。しかし、昨年より週の半分の内視鏡検査を吉浦先生に担当してもらおう事になりました。先生は自治医科大学の出身であり、九州がんセンターで内視鏡の研修を積まれました。数学にも興味があり、九州大学理学部数学科も卒業された方です。頭脳、技術もさることながら、大変やさしい先生です。今後もし宜しくお願いいたします。

消化器科 後藤良三

口腔ケアについて



象に毎日実施しています。①紅茶で浸したガーゼで口腔内を清拭します。②やわらかい歯ブラシを使用して歯間、舌などの歯垢を取り除きます。③きれいにブラッシング後、保湿剤を塗布します。④個人別に注意点を明記したチェックシートを作成。このようにして2ヶ月ほど行った結果、口臭が改善され、口腔内、唇もプルプルと潤ってこられました。口腔内の清潔も保たれ感染予防につながったのではないかと思います。

米の山病院3病棟

現在、米の山病院看護科では、口腔ケアの見直しを行っています。病気や治療などにより食事が摂取できなくなると、唾液の分泌が減少するため口の中が乾いてしまいます。「ドライマウス」は細菌感染しやすく、お口の病気を引き起こし、誤えん性肺炎などを引き起こし全身状態が悪化することがあります。「口腔内の清潔」は健康にとって大切な役割を果たしているのです。

今回、3病棟での口腔ケアの取り組み内容を紹介いたします。自分で歯磨きができない方を対



新卒医師受け入れの新医師臨床研修制度の見直しについて

厚生労働省は、2004年から開始された「新医師臨床研修制度」についての見直しを2010年度から実施します。都道府県ごとに研修医募集定員の上限を決めることが打ち出され、福岡県でも576人から391人へと大幅な削減となります（表参照）。さらに、臨床研修病院の新たな指定基準として、年間新入院患者3000人以上でなければ臨床研修病院の指定が解除されるという悪意的で根拠のない基準です。米の山病院でも募集定員が4名から2名に削減され、年間新入院患者数の基準を満たさず、現状のままでは臨床研修病院として存続できないこととなります。そうなれば新卒医師が出身地域で研修する機会を失い、この地域で医師の後継者を育成していくことが困難になります。

米の山病院では、厚生労働省や九州厚生局との懇談後に意見書を提出しました。地元では、大牟田市立総合病院長、大牟田市市長との三者で懇談し、医師不足や制度の見直しの問題点について大牟田市議会で見解書が採択されるなど、行政を動かす取り組みに前進しました。

今後更に地域や行政、近隣病院・大学等との連携を深め、医師不足・臨床研修制度見直しの問題について政府・厚生労働省への働きかけを集中していくことが重要です。

臨床研修事務局
堤 弘樹

※見直しによる研修医募集定員数推移（各年度4月から研修開始する研修医定員数） H22/2/22現在
【各研修病院の募集定員の合計が各都道府県の定員を超える場合、各研修病院の定員を削減】

	①H21年度	②H22年度	③H23年度	H24年度以降	①-③削減比
福岡県(40病院・4大学) ※都道府県の上限定員	576名	505名	391名		-185名
米の山病院	4名	2名	2名	0名	-2名
千鳥橋病院	6名	4名	?名	?名	-2+α名
大手町病院	12名	7名	?名	?名	-5+α名
(大牟田市立総合病院)	6名	4名	?名	?名	-2+α名

□新たな指定基準「年間新入院患者3,000人」を満たさない病院への緩和措置は平成24年度(研修開始)までで廃止!
□都道府県の募集定員は、平成23年度の研修まで緩和措置として継続し、その後は地域医療への影響等で定める!
□過去3年間に研修医の受け入れ実績がない場合は研修医定員0名となる! 猶予
■H26年の次の研修制度見直しまでに、「全ての緩和措置が廃止」される!

「いつでも元気」の取材を受けました

2月5日、「いつでも元気」編集部が米の山病院に取材にみえました。これは、米の山病院が共同組織拡大強化月間に達成した「全職員100%友の会入会」の実績がきっかけとなり、会員拡大や「元気」拡大の様子を紹介し、今春全国で迎える新しい仲間「元気」の魅力を発信しようというものです。

取材には、友の会三池支部から竹下さんの他、5病棟・橋本、リハビリ・川上、本部組織部・井島の3職員が応じ、「元気」を職場や班会で活用している様子や読者から寄せられた感想を交え、それぞれの「元気」に対する思いを語りました。取材の内容は、「いつでも元気」4月号「特集・ようこそ民連連へ」(仮称)の記事として掲載される予定です。乞うご期待!

共同組織課 斎田隆幸



名護市長選挙に参加して

今回、沖縄県名護市の市長選挙に支援というかたちで参加させていただきました。

「辺野古基地移転問題」が最大の争点となる今回の市長選。名護市民はもちろん、県外、国外からも注目を浴びる選挙であり、投票前日の街頭演説では、県道を市民が埋め尽くす程でした。市民は候補者の基地根絶の声明にその都度大きな歓声をあげ、いち市長選とは思えないその盛り上

がりはまさに「政(まつりごと)」でした。「辺野古基地移転問題」には、「日米安保」「戦争の抑止力」といった国際問題が包含されていることは学習してきましたが、実際に現地に向い、地域住民の方々の話を聞かせていただく中で、住民が望んでいない基地を造るのは暴挙だと純粋に感じました。そしてまた一方で、民主主義が淘汰されかけているこの名護市において、住民達が自ら、自身の権利と主張を運動する姿に深く感動しました。

福岡に戻り、応援していた候補者が当選確実と速報で出た瞬間、本当に歓喜しました。短い期間でしたが、名護市民の想いを現実にする手伝いをさせていただいたことを誇りに感じ、普段何気なく始まり終わる選挙の大切さを痛感させられた2日間でした。

医事課 外来担当 黒岩 達也



黄桃でも白桃でも
お好みで。

ピーチムース



材 料 4人分

- ・桃缶の桃……………200g程度
- ・プレーンヨーグルト…100g
- ・生クリーム……………70cc
- ・砂糖……………60g
- ・粉ゼラチン……………5g
- ・水……………大さじ2



管理栄養士
垣田あゆみ

〈あれば・盛りつけ用に〉

- ・アプリコットジャム
- ・お好みフルーツ

作り方

- ①粉ゼラチンを水でふやかしておく。生クリームは砂糖を加えて7～8分立にする。
- ②桃とプレーンヨーグルトを滑らかになるまでミキサーにかける。ミキサーがない、又は食感を楽しみたいときはお好みの大きさに桃を切る。
- ③ふやかしたゼラチンを湯せんにかき溶かす。②と立てた生クリームをあわせ、更に溶けたゼラチンを加えて混ぜ、容器に移し冷蔵庫で冷やし固める。
- ④固まったら、お好みで、フルーツやジャムなどを盛り付けるとかわいらしく仕上がる。



クイズ 頭の体操

問 題

『 月 十 日 十 』

これらを組み合わせて出来る漢字
一文字は何でしょうか？

No.37(1月1日号)の答は ①B ②A ③Cでした。

ご応募ありがとうございました。正解者は5名でした。
クイズ当選者：前田 多恵子様(大牟田市)、村上 竜也様
(大牟田市)、モチキ マナ様(大牟田市)、松藤 義昭様
(柳川市)、村上 紗也様(大牟田市)、当選者の方には粗
品を進呈します。

応募のしかた

答えを紙(ハガキ)に書いて、送っていただくか受付まで
お持ち下さい。FAXでも可。切は2010年4月10日。
正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈します。

機関誌や米の山病院についてのご感想、ご意見などもお寄せ下さい。

携帯ページはこちらから



アクセスは <http://www.kome-net.or.jp/m/>
または QRコードからどうぞ

全日本新年号 機関誌コンクール

2010年新年号機関紙コンクールにおいて、米の山病院のホームページが優秀賞に輝き、当機関紙「こめのやま」も佳作を受賞しました。今後も地域の皆様から楽しみにして頂けるように努力していきたいと思っております。

読者の声

☆料理コンクールは色々な種類の料理があつてすごかったです。

(大牟田市・M様)

☆根菜カレーに「れんこん」は意外でした。今度挑戦します。

(大牟田市・M様)

皆様からのお便りありがとうございました